

RI2530 地区 2022-23 年度 戦略計画委員会計画

2022-23 年度 戦略計画委員会

ガバナー	佐藤 正道 (喜多方)
委員長	平井 義郎 (福島中央)
副委員長	芳賀 裕 (福島中央)
パストガバナー	石黒 秀司 (郡山)
パストガバナー	志賀 利彦 (いわき小名浜)
ガバナーエレクト	右近 八郎 (福島)
ガバナーノミニ	早川 敬介 (郡山北)

現状調査と分析を行う

- ・ 地区内会員に対するアンケート調査と集計
- ・ 結果から地区の方向性の中期計画と方針の確立
- ・ クラブのビジョン策定への一助となるようデータの還元

以下の各項目によりアンケートを実施する。

会員増強・女性会員増強

- ・ 別紙増強計画参照
 - 入会をしない理由の調査 (日時・場所・会費など)
- ・ 退会防止
 - 退会理由の調査 (クラブからの退会者報告から退会理由の集計)
- ・ クラブの年会費、運営、日時、場所、奉仕活動、親睦活動など

クラブ支援

- ・ 次期リーダーの育成
 - 会長・幹事のなり手不足
 - ロータリーの知識不足
 - 事務局との良好な関係をもちながら棲み分け、依存型の弊害の説明
 - 運営や会合等における委員会完結の推進
- ・ 小規模クラブへの対応と解散防止
 - 解散か合併かまたは、衛星クラブへの切替
 - クラブ運営の問題点の調査
 - 人材面、 人材育成・次期リーダーの育成
 - 財政面について 会員数と財政の関係
 - 会員数の減少による財源減少と人頭分担金、消費税、諸物価や人件費の高騰への対応
 - 事務局賃借料・事務局員の人件費等
 - 対策：一事務局で複数クラブを担当できないか
 - 事務局を置かず幹事が担うことはできないか
 - 事務局を借りず在宅、又は会員事業所でオンラインの活用を検討
- ・ 地区事務所の業務内容について

事務局の負担軽減に対してクラブ・会員へ理解を求める

⇒ 委員会完結型の推進

⇒ 疑問、質問等は事務局を経由せず担当委員会へ直接行う

業務運用マニュアルの作成

ガバナー、ガバナーエレクトと事務局員との関係

複数事務局員業務分担

部門別に分けず、年度単位で分ける

万一、一人が病気等で休むことになっても替わりができるよう育成

ロータリークラブセントラルへの登録と活用の推進

ラーニングセンターの利用

表彰制度の活用

会員のモチベーションアップ

社会奉仕

コロナ下の奉仕活動

医療・介護施設等への支援

社会・国際奉仕

3550 地区との交流事業

継続事業と見直しのタイミング

・GE / ・GN / ・GND との了解

RAC の育成と支援

RAC との関係、育成、地区組織への位置に関してロータリアンへの共通認識を深める

RLI 手法の習得

地区内総ディスカッションリーダーの体制で各委員会が RLI 方式を運営できるようにする

クラブ運営に於いても RLI 方式をとり入れるよう推進

RLI 委員会は実施委員会と併せ、RLI 方式のためのディスカッションリーダー育成のために

地区内委員会から各セッションに参加し会員の分からない所を認識

⇒ 委員会として会員がわからない所の認識と解消に努める

3 年ごとのアンケート

会員意識調査の実施

地区委員会へのアンケート調査

危機管理

・青少年・学友（交換留学生・財団奨学生・米山記念奨学生・ROTEX）など全ての学友への対応

・地区内全会員に対する危機管理の内容と実施についての啓蒙教育

- ・コロナ・Facebook 乗っ取り・不正メールなど IT に関連する驚異への対応

クラウドの活用

- ・継続性と経費節減
- ・地区のデータ資産として長期にわたる情報の保存
- ・会員全員が活用できるよう指導育成

<組織の強化について>

- ・ロータリーの価値観を今後も守ること
- ・あらゆるレベルで組織を強化すること
- ・ロータリーに参加するすべての人が有意義で価値ある経験ができるようにすること
- ・地域社会をより良くすること

地域社会の変化とニーズを的確に捉える

(行動目標)

- ・地域諸団体との連携
- ・クラブの行動に繋がる地域社会の課題、情報を捉える
- ・地域社会との情報の受発信
- ・時代の変化に適応する組織の醸成

地域社会にインパクトをもたらす

- ・ポリオ根絶に向けた横断的な活動の推進
- ・地域社会に向けた開放的な活動の推進
- ・地区活動の理解促進
- ・プロジェクト推進のためのクラブ活動状況の情報共有化

多様な人々との出会いとつながり

(行動目標)

- ・ローターアクトクラブ及びインターアクトクラブの拡大など、若い人々への積極的支援
- ・地域で活動するより多くの人々とのネットワークを築く
- ・将来のリーダーの発掘、育成及びリーダーシップの継続性
- ・年齢、キャリアを問わないプロジェクトの推進

価値観を行動に

私たちは、「親睦」を通じて生涯にわたる友情をはぐくみ、国や文化を超えた理解を促します。私たちは、「高潔性」をもって約束を守り抜き、倫理を守ります。「多様性」を誇るロータリーはさまざまな考え方をつなぎ、多角的なアプローチで問題に取り組みます。私たちは、「奉仕」を通じて「リーダーシップ」と職業のスキルを生かし、地域社会の問題に取り組みます。

ビジョンに通じるもの

しあわせの島（くに）ふくしま職業奉仕宣言

東日本大震災の苦しみと悲しみを乗り越えて
今、鎮魂の祈りから「奉仕の理念」に基づき
「感謝」と「思いやり」の心で職業を通して
世の中に貢献します

1. 例会を通して自己を磨き、「奉仕のこころ」を高めます。
2. 各々の職種において、職業倫理の向上と奉仕の普及に努めます。
3. 自分の職業に誇りを持ち、積極的に価値ある行動をします。
4. 「四つのテスト」を行動指針とし、自分自身を律します。